

令和 7 年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	特 5		学校名		県立北茨城特別支援学校								学校長名		横山 ふさみ			
副校長名						教頭名		高橋 弘明					事務長名		沼田 こずえ			
教職員数	教 諭	58	養 護 教 諭	2	常 勤 講 師	13	非常勤 講 師	4	実 習 助 手	2	寄 宿 舎 指 導 員		事務職員	3	技 術 職 員 等	13	計	95
幼児・ 児童・ 生徒数	部		1 年 (3 歳児)		2 年 (4 歳児)		3 年 (5 歳児)		4 年		5 年		6 年		合計		合計 クラス数	
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	幼稚部																	
	小学部		8	0	5	2	3	5	7	7	6	0	7	2	36	16	15	
	中学部		7	3	10	2	9	2							26	7	10	
	高等部		5	4	5	5	10	4							20	13	8	
	専攻科																	
															小計	82	36	33
															合計	118		

2 目指す学校像

- ◆児童生徒・教職員が笑顔あふれ、安心安全に学べる学校
- ◆一人一人が自己存在感を実感し、楽しく学び合える学校
- ◆保護者や地域から信頼され、特別支援教育の発展に貢献できる学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項 目	現 状 分 析	課 題
学校経営	・海岸から 50 メートル、3 階でも海拔 12 メートルの立地条件であるため、常に危機管理マニュアルを見直し、地震・津波等災害時の迅速な避難に向けてルートの見直し、関係機関との連携構築を図っている。 ・地域学校協働活動に取り組み、地域に学びの場を広げ、児童生徒の良さを発信している。 ・業務改善に向けて教職員のアンケートを実施し、常に見直し改善をしている。 ・コンプライアンス推進計画を作成し、学校全体で不祥事撲滅に向けた自分事研修に取り組んでいる。	・地区住民や行政との連携による避難ルートの確認・改善（複数ルートの準備） ・地域と連携した学びの場の確保 ・地域の学習サポーターの確保 ・教職員が長所を自覚し自ら業務改善に挑戦する体制づくり ・健全に意見を出し合い、学習し合える環境設定
学習指導	・教育課程の改善に取り組み、小学部で「生活」、中学部で「社会」、高等部で「理科」「社会」を位置付けた。 ・単元計画シート（指導目標、内容の可視化と整理のためのシート）を活用し、学習指導要領に沿って目標、内容を設定している。 ・児童生徒による授業評価アンケートを実施し、授業改善に生かしている。	・各教科等の目標や内容の共有及び、実態に応じた学習内容の設定 ・単元計画シートの活用による深い学びの視点を踏まえた授業づくり ・児童生徒が目標を達成するための学習活動の設定と年間指導計画の見直し及び改善

4 中期的目標

- 1 学習指導要領における育成を目指す資質・能力を踏まえた授業づくりにより、教育的ニーズに応じた学力の育成を図る。
- 2 活躍の場があり、互いに学び合える学習環境及び、危機管理体制の改善をとおして、安心・安全な教育環境づくりを図る。
- 3 コミュニティ・スクールや交流及び共同学習をとおして、多様性を認め合える共生社会の実現に努める。
- 4 地域の特別支援教育の発展と共に、相互で学び合い、センター的機能の充実を図る。
- 5 教職員の専門性の向上と働きやすさを目指し、外部講師や関係機関との連携、協働により、学び続ける教師の育成を図る。

5 本年度の重点目標

重 点 項 目	重 点 目 標
1 心豊かな学び	①各教科における単元計画シートを活用した授業づくりの充実 ②各教科等の目標を達成するための学習活動、年間指導計画の見直し改善 ③ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実 ④体験を軸としたキャリア教育の系統的取り組み
2 安心・安全	⑤危機管理体制の見直し・改善 ⑥安心・安全な教育環境（児童生徒の輝く活躍の場の設定） ⑦防災、健康、消費者教育の充実
3 地域と共にある学校	⑧地域の人財や企業、環境など地域資源を活用した教育活動の充実 ⑨児童生徒の作品等とおした間接交流と本校の魅力発信 ⑩学校・PTA・地域交流を目指す「きたとく祭」「つながるマルシェ@きたとく」等の充実
4 地域に沿った 特別支援教育の推進	⑪地域の実態を適切に把握した巡回相談の充実 ⑫互いの人権を尊重し合える交流及び共同学習の推進 ⑬「みんなで地域支援」をコンセプトとした支援体制の充実 ⑭地域のニーズに応じた特別支援学校地域連携体制構築事業、特別支援教育推進体制充実事業の実践
5 専門性向上と働きやすさ	⑮「アクティブラーナー」を目指す専門性向上研修の充実 ⑯業務改善にかかるボトムアップ研修の充実（7月、12月実施） ⑰「強み」を生かした教職員の相互研修